

令和5年度 第6回市政モニターアンケート調査結果

1 アンケート内容

(1) アンケートテーマ

ボランティアに関するアンケート(所管課:市民活動推進課 市民活動・ボランティアサポートセンター)

(2) アンケート目的

ボランティア活動促進に向けた取組みの参考とするため

(3) アンケート項目

12項目

- ・ボランティア活動について
- ・市民活動・ボランティアサポートセンターについて
- ・ひめじdeボランティアについて

(4) アンケート対象

令和5年度市政モニター(225名)

令和5年度高校生モニター(57名)

(5) アンケート方法

姫路市公式アプリ「ひめじプラス」のアンケート機能を活用

(6) アンケート期間

令和5年12月21日(木)から令和6年1月16日(火)まで

2 回答状況

(1) 有効回答数

223

(2) 回答率

79.1%

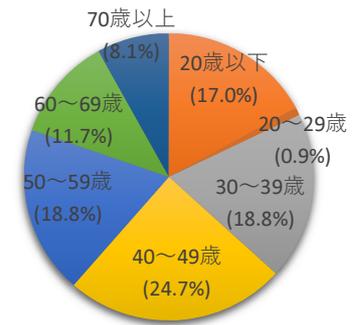
(3) 回答集計

次ページ以降のとおり

アンケート回答者の属性

年齢

20歳以下	38	(17.0%)
20～29歳	2	(0.9%)
30～39歳	42	(18.8%)
40～49歳	55	(24.7%)
50～59歳	42	(18.8%)
60～69歳	26	(11.7%)
70歳以上	18	(8.1%)



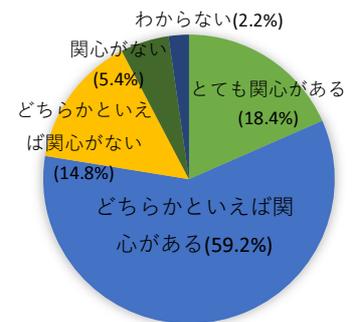
性別

男性	64	(28.7%)
女性	158	(70.9%)
その他	1	(0.4%)

質問1

ボランティア活動(報酬を目的としない社会貢献活動)に興味がありますか

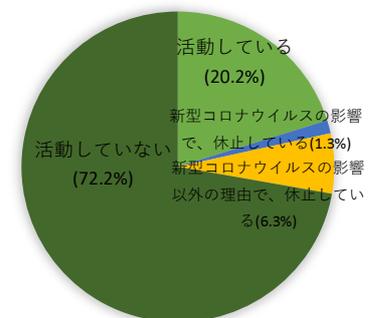
1 とても関心がある	41	(18.4%)
2 どちらかといえば関心がある	132	(59.2%)
3 どちらかといえば関心がない	33	(14.8%)
4 関心がない	12	(5.4%)
5 わからない	5	(2.2%)



質問2

現在、ボランティア活動をされていますか

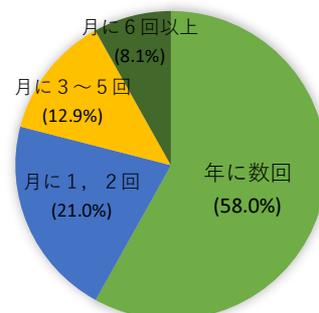
1 活動している	45	(20.2%)
2 新型コロナウイルスの影響で、休止している	3	(1.3%)
3 新型コロナウイルスの影響以外の理由で、休止している	14	(6.3%)
4 活動していない(問6へ)	161	(72.2%)



質問3

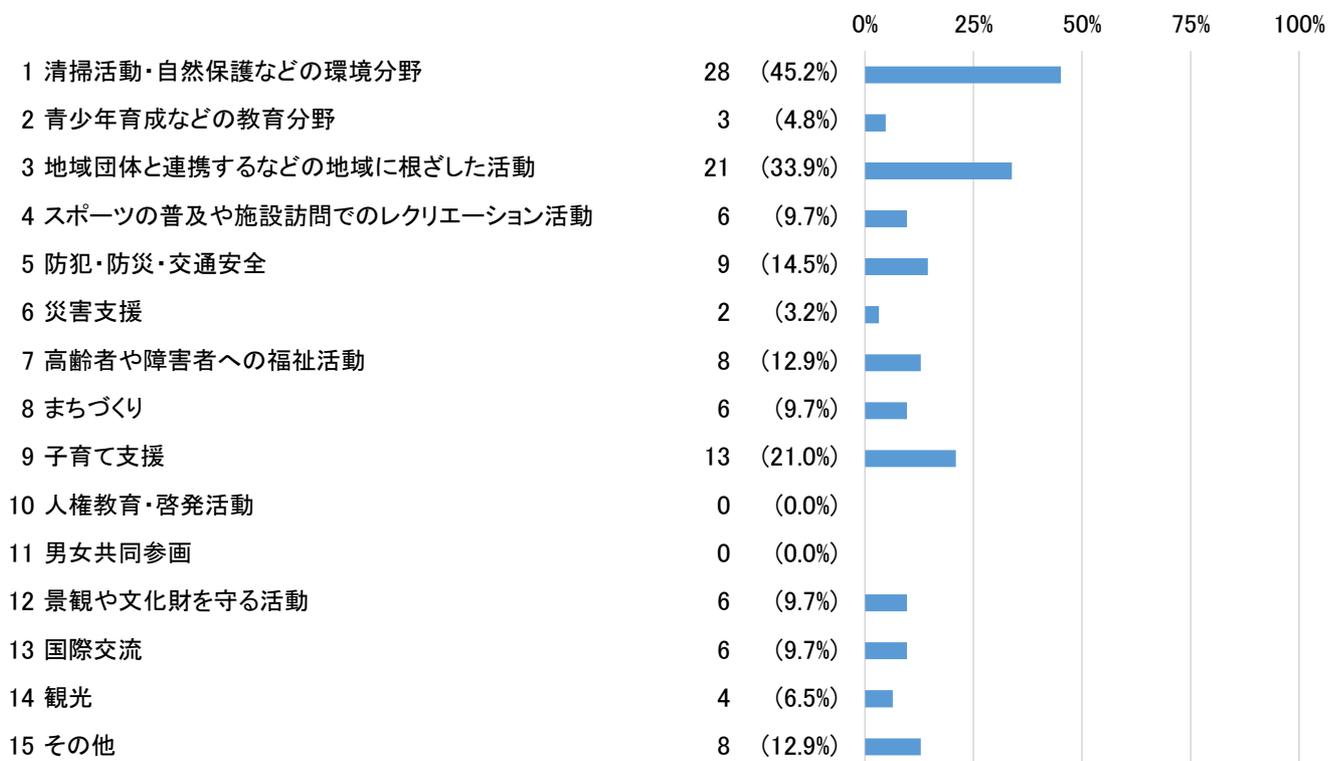
普段、ボランティア活動はどれくらいの頻度でされていますか。

1 年に数回	36	(58.0%)
2 月に1, 2回	13	(21.0%)
3 月に3~5回	8	(12.9%)
4 月に6回以上	5	(8.1%)



質問4

現在活動されているボランティアはどのような分野ですか。(複数回答可)

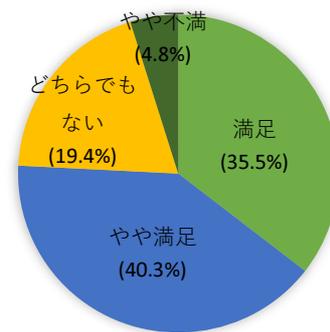


(神戸マラソン、生涯大図書館委員、姫路市立動物園、おもちゃ病院、姫路マラソン、献血、臍帯血バンク、フードドライブ、竹林整備)

質問5

活動されているボランティアについて、どの程度満足されていますか。

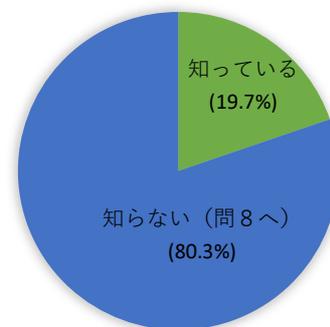
1 満足	22	(35.5%)
2 やや満足	25	(40.3%)
3 どちらでもない	12	(19.4%)
4 やや不満	3	(4.8%)
5 不満	0	(0.0%)



質問6

市民の皆さんが行う市民活動やボランティア活動をサポートする市民活動・ボランティアサポートセンター(愛称:ひめじおん)が市民会館にあることをご存知ですか。

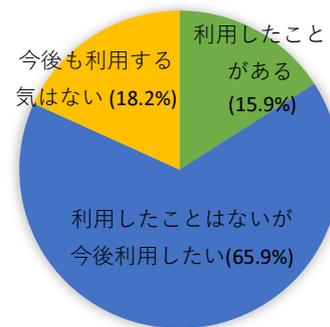
1 知っている	44	(19.7%)
2 知らない(問8へ)	179	(80.3%)



質問7

問6で知っていると回答された方にお伺いします。市民活動・ボランティアサポートセンターを利用したことはありますか。

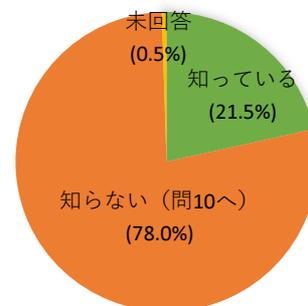
1 利用したことがある	7	(15.9%)
2 利用したことはないが今後利用したい	29	(65.9%)
3 今後も利用する気はない	8	(18.2%)



質問8

市民活動・ボランティアサポートセンターに登録しているNPOやボランティア団体の活動を広く市民の皆さんにPRし、ボランティア活動などを実際に体験していただくイベント「ひめじdeボランティア(ひめボラ・ひめボラ市)」が11月に開催されましたが、このイベントをご存知ですか。

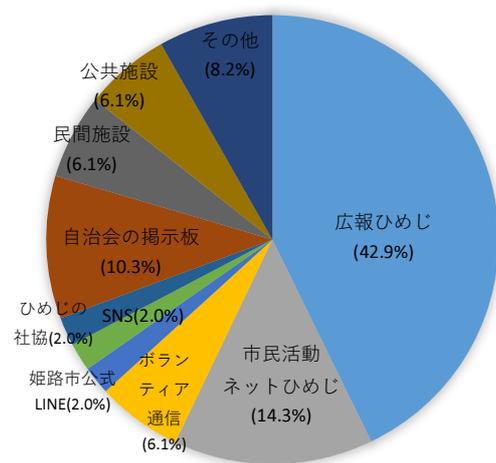
1 知っている	48	(21.5%)
2 知らない(問10へ)	174	(78.0%)
2 未回答	1	(0.5%)



質問9

「ひめじdeボランティア(ひめボラ・ひめボラ市)」を何で知りましたか。

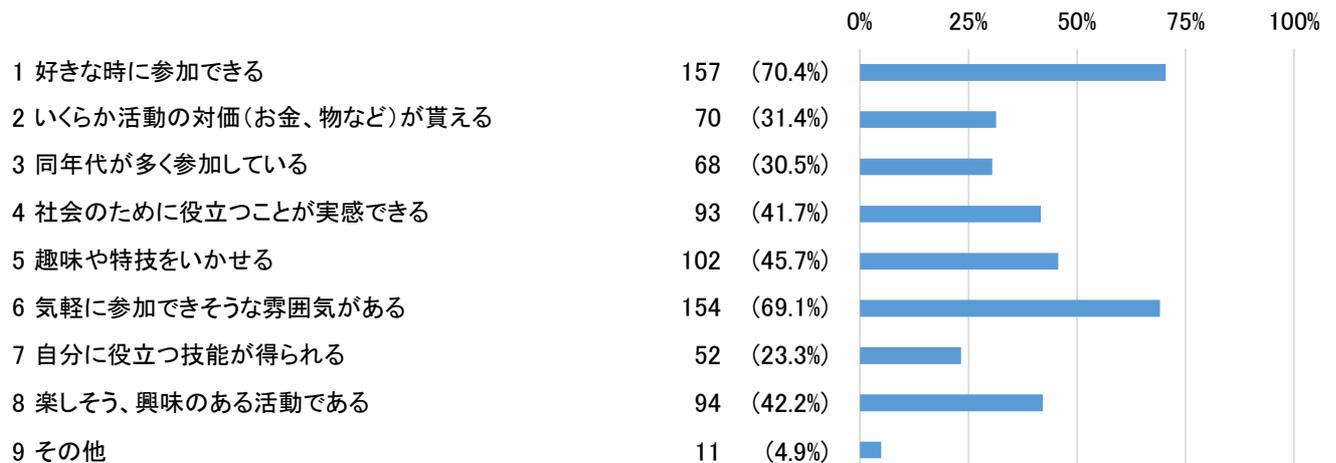
1 広報ひめじ	21	(42.9%)
2 姫路市公式HP	0	(0.0%)
3 市民活動・ボランティアサポートセンター公式HP「市民活動ネットひめじ」	7	(14.3%)
4 ひめじNPO・ボランティア通信	3	(6.1%)
5 姫路市公式LINE(市民活動・ボランティアサポートセンター公式LINE)	1	(2.0%)
6 フェイスブック、インスタグラムなどのSNS	1	(2.0%)
7 広報誌ひめじの社協	1	(2.0%)
8 自治会の掲示板(ポスター、チラシ)	5	(10.3%)
9 公民館など公共施設(ポスター、チラシ、パンフレット)	3	(6.1%)
10 ピオレ姫路などの民間施設(ポスター、チラシ、パンフレット)	3	(6.1%)
11 その他	4	(8.2%)



(以前の職場、学校からの配布プリント、リビング新聞、知り合い)

質問10

ボランティア活動がどのような活動であれば参加しやすいと思いますか。(複数回答可)



- ・ 子どもと一緒に参加したい、子どももたのしめる活動
- ・ ボランティア先の交通機関が心配
- ・ いつも同じ人ばかり、半ば強制的にならないような仕組み作り
- ・ 政治色や利権がない、メンバー間に派閥がない
- ・ 子ども用品、制服などの不用品の寄付
- ・ 仕事と両立できたり、子どもも一緒に参加できたら活動しやすい
- ・ そもそもボランティアはあくまで善意の行為になるため、活動自体が広がりすぎることは望ましくないと考えている

質問11

ボランティアに対する意見、要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・ 姫路市で募集しているボランティアの中には、仕事に近いものが多いと感じる。基本的にはきちんと対価を金銭で支払うなどの方が適切でないか
- ・ ボランティアについてあまり知らなかった。ボランティア募集についてインスタなどで募集すれば若者の目につきやすいと思う
- ・ 子どもと参加できそうなボランティアがあれば参加したい。積極的にボランティア情報の発信があればありがたい
- ・ 高校生になる娘がボランティアに参加したいとのことなので、高校生も気軽に参加できるものを高校に配布や連絡するなど連携してやってもらえると嬉しい
- ・ 退職したら出来る範囲でボランティア活動してみたいと思う
- ・ 介護支援に関するボランティアがあれば、在宅介護者は助かる。被介護者は介護サービスを使えば良いが、在宅介護者の心身の負担に対しては一切支援がない。話を聞いてくれるだけでも心救われる。そういった「介護者対象傾聴ボランティア」があれば、介護者である私もボランティアに参加したいと思う。介護者同士がつながり合う場にもなるのではないか
- ・ 自分のできる範囲でのボランティアを今後も続けていきたい
- ・ 働くことは、対価を得るだけではない。誰かの役に立ち、自分の役に立つことを実感できる人がもっと増えればよいと思う。退職後位の60歳を迎える年代から、関心を持ち、何かのきっかけで人の繋がりができ、活動できる。姫路の人は奥ゆかしいから、自分から見つけて参加する人が少ないのではないかと思う。何かのきっかけをみつけて、手がかりに続ける人が増えればよいと思う
- ・ ボランティアを通じて、自身の生計の基盤も拡充できると嬉しい
- ・ ボランティアに興味があり、姫ボラをラインでつないでいる。何かできることはないかとよく見ている。音楽が好きなので、気軽に演奏などできればと思っている

- ・ 高齢者が元気になるためにボランティア活動に積極的に取り組むことを啓発されたい
- ・ 活動できるボランティアが何処に案内掲載されているかがわからない
- ・ もう少し歳をとって なおかつ元気ならボランティアに参加したいと思う。年寄りにも出来るボランティアがあれば良いが…
- ・ 参加したいのですが、一步勇気がない。気軽に参加できそうなものから参加してみたい
- ・ ボランティアの対価はお金より物がいい
- ・ 子育て中で仕事もあり忙しくて、を理由に参加していない。生活に余裕がでてきたら、ボランティアを通じて同じ趣味や興味をもつ人たちと交流できる機会をもってみたいと思う
- ・ ボランティアサポートセンターに登録してあるグループの活動にいくつか参加したことがある。しかし、誰か偉そうな人がいたり、目立ちたいからやっている人がいたり、段取りが悪くて時間とエネルギーの無駄づかいの状態だったりする事が、多々ある。なので、登録したいと思えない。なので、姫路市が主体となっている活動に登録している。姫路市主体のボランティアが色々あれば参加したいと思う
- ・ 楽しく、人に指図される事がない、皆で進んで活動出来る環境
- ・ 交通費程度は必要なケースもあるように思う
- ・ 独身の頃、まだボランティアと言われてない時に数々のお手伝いに行った。自分自身のために経験したことが後々役に立ったように思う。若い世代の方たちも構えず声かけしてお手伝いしたら良いのにと思う
- ・ 自分の得意なことを活かして人の役に立ちたいと思うが、具体的にどう動いたらいいのかわからない。日本では、ボランティアに対する考えがまだまだ遅れているように思う。気軽に参加できる体制ができればいいと思う
- ・ ボランティア活動と聞くと、大きく構えてしまって気軽に参加しにくく感じる。仕事をしている人はなかなか時間が作れなかつたりするので、共通な何かがあるグループとかですと参加しやすいかと思う。例えば産休、育休期間中の方対象で出産育児相談会。産院などにお知らせを配布して、気軽に手に取れるようにしたり、定期的に開催して、好きな時に参加して参加者で話をする。そこに出産子育て経験者が主催となりおしゃべり会をするなど。核家族が増えてなかなか身近の人と話をする機会がなく、交流の場も少ないと感じたので。1人で困ってる人もいると思うので
- ・ 姫路市の広報は見ているが、今回のアンケートに出ているような施設を知らなかったので学んでいきたい
- ・ ゴミ拾いについて、シルバー人材はお金を払い、ボランティアには払わない、矛盾しませんか？姫路マラソンにしても、お金を払いたく無いのか、予算が無いのか？ボランティアと言って人の善意につけ込む事をしていますが！警備会社もボランティアでお願いしたら良いのでは？災害派遣のように心から手伝いたいと思える活動が少ないと感じる
- ・ ボランティア募集など、いろいろな媒体で紹介してもらえると、さらに関心が高まるのかなと思う
- ・ 登録制のボランティアにし、参加できそうな時だけ参加できるようにして欲しい。姫路市の広報等でも、ボランティア活動について案内して欲しい
- ・ 幾ら紹介するセンターを作っても、大手はともかく中小企業に勤務する人間はボランティア活動に当てる時間はなかなか無いと思う。商工会議所などと連携して企業に対しての働き掛けなども必要ではないかと思う
- ・ 高齢者も参加でき、すこしでも給料が発生し、社会との関わりがもてるしくみにしてほしい
- ・ 気軽に初めてでも参加できたら良いなど。家の近くや行きやすい場所なら行きやすそう。田舎へのボランティアとかも街と違った生活や風景があり、困り事があつたらボランティアをして人の役に立ちたい
- ・ 体調の問題等もあり、いつでも参加いつでも欠席の自由があると参加し易い
- ・ 自宅からカルチャセンターまでの道路に車からのポイ捨てが多く、見かねて数年前から月に二回、ゴミ拾いをしている。所詮、自己満足にすぎないが、大谷翔平選手が言われたように「ポイ捨てした人の運を拾っている」と思うと気持ちがいい
- ・ 自身の生活が困窮しているので、他人のためにボランティアをしようという気持ち起きないのが現状。ボランティア活動をする気が起きたとしても、気軽に参加できる雰囲気はないと思うので躊躇する。ボランティアのために新しい団体と関わらないといけないのが苦痛。ひめじおんのホームページまで見に行けばどんなボランティアがあるか等見たりできるが、よっぽどのボランティア好きじゃないとそこまで見に行かないと思う。広報ひめじなら多くの人が目にする機会が多いと思うので、毎月色んなボランティアを写真付きで紹介したりすると市民に少しでもボランティアが浸透すると思う
- ・ 自分の能力が活かせてやり甲斐のある活動、例えば児童の学習補助など
- ・ シニアにはボランティア活動の情報を得る事が相対的に苦手な人が多いのでこれの対応を改善して欲しい

健全な精神は健全な環境で育てられる。近所のいくつかの公園には、ペットボトルやお菓子の袋などがよく落ちてい
る。子供達はその風景に慣れてしまうと大人になっても同じことを繰り返す。ゴミのない公園が気持ちがいいと思える
ようにゴミ袋と火箸持参でウォーキングしている。組織に入らずとも身近にできる社会貢献だと思っている

ママ友の誘いで入ったコーラスグループがボランティア団体として登録されていることに、入会後に知った。幼稚園な
どに出向いて無償でコンサートをして子供達に楽しんでもらっている。自分の好きなことや趣味がボランティアになる
ことを知らなかったのもっと広くお知らせすれば、ボランティア活動してみようという人が増えるのではと思う

ボランティアの募集ポスターやサイトに詳しい内容や、参加した人の感想などがあつた方が参加者や親しみやすさが
あると思う。また、学生の私たちにはボランティアなどの情報を得る機会が少ないので学校などにも広報活動をして
いただきたい

ボランティアに参加しやすくできるポスターなどを作ると良い

高校生でも参加出来るボランティアの数を増やして欲しい。子育てや国際交流に関するボランティアが少ないので増
やして欲しい

世界遺産のある都市として、任意で良いので市民全員参加のボランティア活動日を年2回程度設定してはどうでしょう
か